

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	“なりふり構わない経営改善”の取組		
予 算 額	32,410 千円	新規・充実・継続の別	継続
担 当 課	企画総務部 営業推進課(863－5058、863－5075) 企画総務部 財務課(863－5085)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
令和6年度もコロナ禍前の状況までお客様数の回復を見込むことが難しい状況に加え、市バス・地下鉄の運行に必要な担い手の確保に向けた人件費の上昇や軽油・電気料金など燃料調達価格をはじめとする物価高騰により、交通事業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続くことが想定される。 こうした中でも市バス・地下鉄の持続可能な運営を目指し「利用促進・収入増加」「経費削減」「経営状況の見える化」「国・府への要望」など引き続き徹底した経営健全化策に取り組む。			
[事業概要]			
厳しい経営状況にある市バス・地下鉄の持続可能な事業運営を目指し、以下の利用促進、収入増加、経費削減に取り組む。 1 一人でも多くのお客様に御利用いただくための利用促進活動の展開 定期券の利用促進に向けた大学・経済団体等に対する営業活動をはじめ、「京都市バス・地下鉄を守るための利用促進本部会議」による全庁体制での利用促進の取組、さらには「チーム『電車バスに乗るっ!』」をはじめとする民間事業者等との連携による利用促進の取組など、地下鉄・市バスの利用促進活動を展開する。 2 ワゴン販売や自動販売機の増設等の小規模スペースを有効活用した駅ナカビジネス収入増加策の実施 地下鉄駅構内の空きスペースを商業活用した「駅ナカビジネス」について、既存店舗の売上向上を目指した販売促進策の展開に加え、ワゴン販売・簡易店舗や自動販売機の増設など小規模スペースの有効活用により、更なる増収に積極的に取り組む。 3 定期券発売所の営業日・営業時間見直し 御利用状況に応じて定期券発売所の営業日や時間を見直すことにより、経費抑制を図る。 ○竹田・六地藏 定期券発売所の営業日変更 …全日⇒月～水・金～土に変更（木・日・祝日は休み） ○京都・四条・北大路・三条京阪・山科 定期券発売所の営業時間変更 …土曜日の営業時間（7：30～19：30）を日祝（9：00～17：00）と統一 ※ いずれの見直しも、令和6年5月1日（水）から適用			

4 国の支援制度の活用や国・府への要望活動の実施等

アフターコロナにおけるお客様の御利用の回復を見込むことが難しい状況やこの間の原油や物価高騰に対する支援など両事業の経営健全化に向けた支援について、引き続き、国や府に対し要望活動を実施する。

[参 考（他都市の状況・事業効果など）]

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	「観光特急バス」の新設		
予 算 額	— 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	自動車部 運輸課(863－5132) 企画総務部 企画調査課(863－5027)		
【事業実施に至る経過・背景など】 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類相当に移行して約1年が経過し、社会経済活動の正常化とともに、京都観光の回復も進んでいる。観光課題への対応が一層重要となる中、市バスの一部路線・時間帯で生じる混雑対策として、「市バス輸送力の再配分・増強等」、「地下鉄をはじめとした鉄道を生かした移動経路の分散」の2つの方針に基づき、市民生活と観光の調和に向けた取組を積極的に展開している。			
【事業概要】 令和6年6月実施予定の市バス新ダイヤでは、利用状況に応じた輸送力の再配分と増強等により、通勤や通学、買い物などの市民利用を守りつつ、観光利用にもしっかりと対応するなど、市民生活と観光の調和を目指した路線・ダイヤを編成することとしている。 この新ダイヤでは、観光に便利な「観光特急バス」（国の制度改正を踏まえた、一般バスとは別運賃の路線）を新設し、市民利用と観光利用の棲み分けを図っていく。			
【観光特急バスの概要】			
1 運行区間 京都駅と特に観光需要の高いエリアを結ぶルートで運行する。 ※ 具体的な運行ルートやダイヤについては、新ダイヤにおいて公表。（3月下旬）			
2 旅客運賃			
普通運賃	大人500円、小児250円 ※ 身体障がい者等に対する特定割引運賃は 大人250円、小児130円		
利用可能な乗車券等	現金、ＩＣカードのほか、地下鉄・バス1日券及び京都修学旅行1day チケットが利用可能 ※ 定期券、回数券、敬老乗車証及び福祉乗車証は利用不可		
3 運行開始日 令和6年6月（予定）			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 本事業に係る予算については、市バスダイヤ改正の中に含む。			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	市バスの運行情報の更なるオープンデータ化		
予 算 額	167,860 千円 (債務負担行為設定あり)	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	自動車部 運輸課(863－5124)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
国が進める公共データのオープンデータ化に基づき、交通局では、令和6年1月に市バスのバス停留所の位置や市バス時刻表、運行経路等に関する情報（静的情報）を公開した。 引き続き、市バス車内の混雑情報や市バスの走行位置等の動的情報について、オープンデータ化を進めている。 オープンデータ化することで、民間事業者が提供する乗換案内サービスなどが充実し、市バスの利便性向上が見込まれる。			
[事業概要]			
令和10年度に、市バス車内の混雑情報や走行位置等（動的情報）を国土交通省が推奨する国際標準（G T F S－R T）形式でオープンデータ化することを目指し、以下のとおり実施する。 1 第1期事業（令和6～7年度：<u>⑥167,860千円</u>、⑦446,490千円、計614,350千円） 市バス車内の混雑度の見える化を行うため、<u>混雑度を計測するカメラセンサを車内に設置するとともに、車両搭載のG P Sデータを活用し、交通局のホームページに、市バス車両の走行位置などの運行情報や車内混雑度を発信する。</u> 2 第2期事業（令和8～10年度） 第1期事業で発信したデータを基に、令和10年度に国土交通省が推奨する国際標準（G T F S－R T）に準拠した<u>動的情報のオープンデータ化を目指す。</u>			
[参 考（他都市の状況）]			
東京都及び横浜市：令和2年8月に動的情報（G T F S－R T）を公開			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	地下鉄車内防犯カメラの設置		
予 算 額	24,596 千円 (債務負担行為設定あり)	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	高速鉄道部 高速車両課(863－5263)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
地下鉄車両内の防犯カメラについて、交通事業者として最大の責務である「輸送の安全確保」を徹底し、お客様に安全・安心に御利用いただくため、全車両への防犯カメラの設置を積極的に推進する。			
[事業概要]			
交通局では、お客様に安心して地下鉄を御利用いただけるよう、令和5年1月以降、烏丸線で導入している新型車両（9編成）に車内防犯カメラを順次設置している。			
さらなる取組として、 <u>車内防犯カメラが搭載されていない烏丸線既存車両（11編成）と東西線既存車両（17編成）についても、令和6年度から令和10年度にかけて順次設置し、全ての地下鉄車両へ拡大することで、犯罪抑止の効果を高め、これまで以上に安全・安心に地下鉄を御利用いただけるよう取り組んでいく。</u>			
【年次計画（予定）】			
	烏丸線新型車両 (9編成)	烏丸線既存車両 (11編成)	東西線既存車両 (17編成)
令和 4年度	3編成	—	—
令和 5年度	2編成	—	—
令和 6年度	2編成	1編成	1編成
令和 7年度	2編成	2編成	4編成
令和 8年度	—	3編成	5編成
令和 9年度	—	3編成	4編成
令和10年度	—	2編成	3編成
			
新型車両の防犯カメラ		既存車両の防犯カメラ（イメージ）	
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	駅出入口等における浸水対策の強化		
予 算 額	21,985 千円	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	高速鉄道部 技術監理課(863－5232) 高速鉄道部 運輸課(863－5223)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
京都市では、昨今のゲリラ豪雨等の多発を踏まえ、国の補助制度を活用しながら計画的に駅出入口に止水板を設置するなど、地下鉄の浸水対策に取り組んできた。令和6年度は、地下鉄の運行に不可欠な変電所への止水板設置に新たに着手するなど、さらなる浸水対策を進め、交通事業者として最大の責務である「輸送の安全の確保」の徹底を図る。			
[事業概要]			
1 止水板の設置			
京都市では、地下鉄の浸水対策として、平成28年度から令和元年度までの4か年で、12駅31か所の出入口について、止水板の設置や強化に取り組んできた（第一期）。 また、令和2年度から令和5年度の4か年で、「京都市水害ハザードマップ」（平成30年5月公表）において、新たに浸水想定が50cm以上とされた8駅16か所の出入口について止水板を設置するとともに、これまでよりも浸水想定が深くなった4駅9か所の出入口については止水板の強化を実施した（第二期）。 第二期計画の作成後、白川の浸水想定区域図が公表され、 <u>白川に近接する東山駅出入口1が浸水想定50cm以上に該当したことから、令和6年度に止水板を設置する。</u> また、本市の積極的な国への要望活動により変電所設備への浸水対策が新たに国庫補助対象となったことから、 <u>同出入口に近接し、浸水想定区域内である東山変電所についても一体的に止水板等を設置する。</u>			
2 簡易型止水板の設置			
近年、ゲリラ豪雨が多発している状況を踏まえ、 <u>浸水想定50cm未満の8駅15か所の出入口に、現在使用している水のうと比べて設置が容易な「簡易型止水板」を導入する。</u>			
(設置箇所)			
烏丸線：松ヶ崎駅1か所、北山駅1か所、鞍馬口駅2か所、 今出川駅4か所、四条駅1か所 東西線：烏丸御池駅4か所、二条駅1か所、 太秦天神川駅1か所			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

A photograph showing a bright orange, rectangular, ribbed water stop board being held by a person's hand. The board is designed with multiple vertical ridges to create a barrier against water flow. It is shown on a paved surface.

簡易型止水板（イメージ）



簡易型止水板（イメージ）

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	バス停上屋の新設再開やベンチの設置等バス待ち環境向上の取組		
予 算 額	20,632 千円	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	自動車部 技術課(863－5154)		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、市バスを快適に御利用いただくため、バス停に上屋やベンチなどの設置など、バス待ち環境の向上に努めてきた。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響によるお客様数が大幅に減少したことにより、極めて厳しい経営状況に直面したことから、令和3年度以降ベンチの設置は継続したものの、本市が設置するバス停上屋の新規整備は延期してきた。			
[事業概要] 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されて以降、国内外からの観光客の増加などにより、お客様数は回復基調にあることから、 <u>ベンチの設置を引き続き行うとともに、上屋の新規整備を再開するなど、バス待ち環境向上の取組を進める。</u> 1 バス停上屋の新設再開（予算額 17,732 千円） 令和6年度から予算措置を行い、 <u>バス停留所への上屋の新設を再開する。</u> 【設置箇所数】 3か所 2 ベンチの設置（予算額 2,900 千円） 令和6年度においても、 <u>引き続き新設や増設並びに老朽化したベンチの更新などを行う。</u> 【設置箇所数】 約30か所			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	運賃箱の更新と「つり銭方式」への変更		
予 算 額	1,334,797 千円 (債務負担行為設定あり)	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	自動車部 技術課(863－5153)		
[事業実施に至る経過・背景など] 現在、市バスでは現金で運賃をお支払いの際に「両替方式」を採用しているが、お客様に両替のお手間をお掛けするとともに時間を要することから、降車口で混雑が生じ、停留所での停車時分が長くなる原因の一つとなっている。			
[事業概要] 運賃箱の老朽化に伴い、令和5・6年度で市バスに搭載している全運賃箱の更新を予定しており、これにあわせて「両替方式」から「つり銭方式」へ変更することで、スムーズな降車が可能となり、お客様の利便性や停車時間の短縮による定時性の向上を目指す。 なお、「つり銭方式」への変更に当たっては、様々な広報媒体を活用し、お客様への分かりやすい周知に努める。			
1 運賃箱の更新 令和5年度は市バス車両180両の運賃箱を更新。令和6年度は市バス車両630両の運賃箱及び営業所に設置している関連機器を更新することで、全車810両の更新を完了する。			
2 運賃箱の「つり銭方式」への変更（令和6年12月予定） (1) 市バス車内に設置の車内案内モニターの画面表示や音声案内を「つり銭方式」に変更。 (2) 「つり銭方式」へ変更することについて、市民しんぶんや交通局ホームページでお知らせするほか、ポスター等を作成し、市バス車内や地下鉄駅構内等に掲出し、周知を図る。			
(予算総額) 1,956,740 千円 〔令和5年度： 621,943 千円〕 〔令和6年度：1,334,797 千円〕			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）] 東京都交通局、横浜市交通局、名古屋市交通局、大阪シティバスなどが「つり銭方式」を採用している。			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	ポイントサービス(もえぽっ)のモバイルICOCAへの対応		
予 算 額	29,700 千円 (債務負担行為設定あり)	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	企画総務部 企画調査課(863－5061)		
[事業実施に至る経過・背景など] 令和5年3月からモバイルICOCAがリリースされ、市バス・地下鉄においても利用可能となったが、本市独自のポイントサービス（もえぽっ）は対象外となっていた。			
[事業概要] ICカード（ICOCA・PiTaPa）に加えて、 <u>モバイルICOCAをポイントサービスの対象に加える</u> ことで、より多くのお客様に御利用いただき、利便性の向上を図る。			
(主な内容) ・ ICカードと同様、モバイルICOCAで対象の交通機関を御利用いただくことで、ポイントサービス（乗継ポイント、利用額ポイント、IC24Hチケット）の対象となり、より多くのお客様にポイントサービスを御利用いただくことができる。 ・ モバイルICOCA上で、ワンストップで会員登録やポイントチャージが可能となり、券売機やポイントチャージ機での操作が不要となり、利便性が向上する。			
(実施時期) 令和6年8月（予定）			
(予算総額) 49,500 千円 〔令和5年度：19,800 千円〕 〔令和6年度：29,700 千円〕			
(参考) 令和6年1月末時点のポイントサービス（もえぽっ）登録者数 約44,000人			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	担い手確保に向けた取組の実施・強化		
予 算 額	3,488 千円	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	企画総務部 職員課(863－5073)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
公共交通の担い手不足の問題が全国的に深刻化する中、本市の市バス・地下鉄の運行を維持していくためには担い手の確保が喫緊の課題となっている。 担い手の確保に向けて、より多くの方に採用試験を受験していただけるよう、採用情報等の広報を充実させる。			
[事業概要]			
1 就職や転職支援イベントへの出展等（予算額 3,328 千円） <u>就職や転職支援イベントに出展すること</u>で、市バス・地下鉄の運行に携わる職を視野に入れている方も含めてPRを行うなど、<u>採用試験に関する広報活動を強化し、受験者増につなげる。</u>			
2 国の「働きやすい職場環境認証制度」の認証取得（予算額 160 千円） 自動車運送事業（トラック・バス・タクシー事業）の運転者不足に対応するための総合的取組の一環として国土交通省が創設した「<u>働きやすい職場認証制度</u>」に、<u>申請・登録すること</u>で、<u>働きやすい労働環境の「見える化」を推進し、バス運転士の確保につなげる。</u>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	電気バスの運行開始に向けた事業着手		
予 算 額	債務負担行為設定	新規・充実・継続の別	充実
担 当 課	自動車部 技術課(863－5153)		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、地球温暖化対策として「2050年CO2排出量正味ゼロ」となる脱炭素社会の実現を目指し、令和3年12月に「京都市役所CO2削減率先実行計画＜2021－2030＞」を策定し、市役所全体の温室効果ガス排出量削減の取組を進めている。 交通局では、脱炭素社会の実現に向け将来世代に持続可能な社会の実現に資するため、市バスに電気バスを導入する。			
[事業概要] 令和7年度の市バス路線での運行を目指し、令和6年度には導入する営業所や車両の選定、充電設備などの整備を行う。 1 車両 定員70名程度で、満充電時に年間を通じて100km程度運行可能な大型電気バスを、2両導入する。 2 充電設備 大型電気バス2両の充電が可能な充電器を導入営業所に設置する。 (予算総額) 178,920 千円 〔 令和6年度： 0 千円 令和7年度：178,920 千円 〕			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	洛西“SAIKO”プロジェクトの推進(交通のバージョンアップに向けて)		
予 算 額	44,998 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	自動車部 運輸課(863－5132) 企画総務部 企画調査課(863－5022)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
本市では、洛西ニュータウンをはじめとする洛西地域全体の活性化を目指し、「洛西“SAIKO”(さあ、いこう)プロジェクト ～みんなで進める！実行策 とりまとめ～」を令和5年11月に策定した。 実行策の1つである「交通のバージョンアップ」では、洛西地域で運行する4つのバス事業者間の連携を更に深め、路線再編による鉄道駅への速達性・洛西ニュータウン内の回遊性の向上やICカードの利用拡大・IC定期券の共通利用など、御利用状況に応じた効率的で持続可能な運行体制の構築とまちの活性化・にぎわいに資するバスネットワークを目指すこととしている。			
[事業概要]			
1 バス路線網のブラッシュアップ			
路線再編の先行実施として、令和6年6月実施予定の市バス新ダイヤで ・ 洛西バスターミナル～鉄道駅（阪急洛西口駅・JR桂川駅）とを約10分の最短ルートで結ぶバス路線の新設 ・ 一部の便を終点の洛西バスターミナルから他の系統へと続けて運行することによる洛西ニュータウン内の回遊性向上 を実施し、バス路線網のブラッシュアップを図る。 ※ 運転計画の詳細は3月下旬に公表予定。			
2 運賃制度のシームレス化の推進（予算額 44,998 千円）			
洛西地域のまちづくりと連携し、運賃制度のシームレス化により利便性の向上を図る。（令和7年4月実施予定） ・ IC定期券の民営バス事業者との共通化に向けたシステム改修 ・ 「桂フリー」定期券の発売 ・ 定期券発売所の移設（市バス洛西営業所内からJR桂川駅前）			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			
バス路線網のブラッシュアップに係る予算については、市バスダイヤ改正の中に含む。			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	地下鉄駅における社会課題対策への取組		
予 算 額	1,200 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	企画総務部 営業推進課(863－5075) 高速鉄道部 管理課(863－5213) 高速鉄道部 運輸課(863－5223)		
[事業実施に至る経過・背景など] 社会課題の一つである「生理の貧困」の解決に向けて、令和5年度に「地下鉄駅トイレにおける生理用品の無料提供サービス」の導入に向けた検討を進めてきた。 令和6年度には本サービスの導入をはじめ、授乳スペースやサニタリーボックスを継続して設置することで、誰もが安心して地下鉄を御利用いただける環境を整備し、女性活躍をはじめ、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの達成に貢献する。			
[事業概要] 1 地下鉄駅トイレにおける生理用品の無料提供サービス導入（予算額 278 千円） 社会課題の一つである「生理の貧困」の解決を図るとともに、誰もが安心して御利用いただける環境整備に向け、地下鉄駅の女性用トイレにおいて、生理用品を無料で提供するサービスを導入する。 本サービスは、民間事業者が提供するスマートフォン上の専用アプリ（無料）と個室トイレ内に設置するディスペンサー（生理用品を無料で提供する機器）を通じて、利用者に生理用品を提供する仕組みとなっており、ディスペンサー上に表示される広告収益により設置・生理用品等にかかる費用をまかなう。 地下鉄31駅のうち、特にお客様の御利用が多い駅または学校が近接する駅の女性用個室トイレ内にディスペンサーを設置する。（15か所程度） なお、設置駅は今後選定する。 2 地下鉄駅構内への授乳スペース（予算額 922 千円）及びサニタリーボックスの継続設置 令和5年度から地下鉄東山駅構内に試行的に設置している授乳スペースや、各駅の男性用トイレ等へのサニタリーボックスの設置を継続し、誰もが安心して地下鉄を利用し外出できる環境を整備する。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和6年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	温水洗浄便座の多機能トイレへの計画的設置		
予 算 額	1,290 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	高速鉄道部 技術監理課(863－5233)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
子どもまんなか社会の実現や事業活動における環境への配慮など、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの達成に向けた取組を展開するとともに、誰もが安心して住み、学び、働くことができ、誰もが訪れ、楽しむことができる「都市の成長戦略」に貢献する。			
[事業概要]			
温水洗浄便座は、バリアフリー整備ガイドラインの車いす用トイレにおいて、「望ましい整備内容」に位置付けられており、体の不自由な利用者にとって大変有用な設備である。このため、地下鉄の多機能トイレに温水洗浄便座を設置することでバリアフリーを促進し、より快適に利用できる環境を整えることを目指す。			
令和6年度から、乗降人員の多い駅から毎年2～3駅ずつ、順次、設置する予定である。なお、トイレの全面改修を予定している駅に関しては、改修工事に合わせて設置する。			
【年次計画（予定）】			
令和6年度 四条駅2か所、京都駅1か所			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			